

第5回 優秀指導者表彰制度 協賛会社 (株)伊藤園

第5回 優秀指導者表彰制度

小論集

藤山 乾太 (宮城ゴルフガーデン)

浦本 清彦 (ヨコハマゴルフフォーエスクラブ)

寺本 明寛 (ニッケゴルフ倶楽部京口センター)

活動趣旨

日本のゴルフ練習場文化は、ゴルフ業界の中で、世界に誇れる物ではないでしょうか。韓国、台湾、タイランド、中国などのゴルフ練習場は、設備面を始め運営ノウハウに至るまで日本を手本としております。そのゴルフ練習場文化を創造し、そこで働く優秀な人材を発掘し表彰する事は、大変意義深い連盟活動になるものと確信しております。

また JGRA 加盟練習場の優秀な人材を表彰することにより、そこで働くスタッフの意欲を高めると同時に JGRA のゴルフ界への活動を周知させることとなります。

そして最優秀者の紹介ならびに作文を公表する事は、その他の練習場のスタッフが目差す姿としてレベルアップを図るようになり相乗効果となりえます。

優秀者の推薦と選考に関しては、各支部にその運営をお任せする事により、地域練習場とのより密接な取り組みの促進の手立になると存じます。

選考方法

各支部より候補者を募り、作文「ゴルフに関する信条と取り組み」（1000字）と経歴書を選考基準に候補者の中から各支部長が最優秀指導者を1名選考する。（各支部1名 計6名）

歴代最優秀賞受賞者

	最優秀最優秀経営管理者	最優秀指導者
第1回	北 勝成（菊水ゴルフクラブ）	植北成美（名古屋グリーン倶楽部）
第2回	吉原英敏（グラントゴルフセンター）	神保芳人（宮城ゴルフガーデン）
第3回	石橋国彦（城山ゴルフアリーナゼロイン）	富永貴子（有田ゴルフガーデン）
第4回	原 祐二（小戸ゴルフセンター）	川村宏治（札幌スポーツアカデミー）
第5回		藤山乾太（宮城ゴルフガーデン）
		浦本清彦（ヨコハマゴルフフォーエスクラブ）
		寺本明寛（ニッケゴルフ倶楽部京ロセンター）

藤山 乾太



- 練習場名：宮城ゴルフガーデン
- 年齢：56歳
- 勤務歴：7年
- 役職：インストラクター

私の信条は「ゴルフが好きだ」という事です。

「休みの日は何をしているの？趣味は何ですか？」と聞かれると、「ゴルフをしています。ゴルフが趣味です。仕事もゴルフです。」と答えます。「羨ましいですね。」と必ず言われます。

仕事が苦痛とか、休みたいと思ったことは全くありません。練習が好きで、練習場が好きです。苦手な事は土地柄、冬のレッスンが少し寒い事位でしょうか。

ゴルフを始めたのは学生時代でしたが、ゴルフ部でもなく、ゲーム感覚でコースにばかり通っていたので、十年位は全く上達しませんでした。練習もしないのでから当たり前です。面白いなどとは、とても思えませんでした。それでも、プロや上級者を見ると、その格好良さに憧れ、自分もそうなりたいと願い、練習場に通うようになりました。ゴルフの本を読みあさり、レッスンプロに習い、様々な打ち方を試しました。上達が感じられた頃には、練習する事が好きになり、ドローボールが打てるようになった時の嬉しさは、今でもはっきり覚えています。毎日のように色々な練習場へ通い、そのうち縁あって、練習場で働くようになり、インストラクターとして育ててもらい、現在に至っています。

次に『取り組み』についてですが、練習場で働いて、生計を立てているからには、出来るだけ多くのお客様に頻繁に通っていただく事が一番だと思います。私の立場で出来る事と言えば『練習を好きになって楽しく感じていただく事』、好きになるには上達が一番の近道で、それが『練習継続』に繋がると確信しています。適切なアドバイスで納得をしていただき、「分かった」と言ってもらえる事はもちろん、「良い雰囲気ですね」と思っていただけのようなスクールを目指しています。お客様は雰囲気に敏感です。練習場の明るさや清潔感、フロントでの一声、ショップの充実、スタッフの笑顔、それらに常に気を配るのが大切な事と考えています。

『お客様に練習を継続してもらい、上達して喜んでいただきたい』これが私の取り組みです。

浦本清彦

- 練習場名：ヨコハマゴルフフォーエスクラブ
- 年齢：48歳
- 勤務歴：2年
- 役職：チーフインストラクター



ゴルフを知り練習を始めだして早28年、プロとしてレッスン業に携わり11年。面白楽しくゴルフをしていた17年と、指導する立場としての11年とは、こんなにも違うのか。と苦労した事も有りましたが、信条が有ればこそ何事にも向かって行けるのです。好きで有ること、ゴルフを通して自身への挑戦をすること、よい仲間がいることです。好きで有ことは言うまでも無く、ゴルフを見るも練習をするも、コースでプレーするも、好きで楽しい事です。自身への挑戦は何事でも同じだと思いますが、妥協せずに昨日より今日、今日より明日と思い、少しでも進むことです。成功哲学とかを学ぶと、成功とは諦めない事。失敗しても何度でも改め、やり抜く事だそうです。失敗したくないから何もしないが一番よくないことです。また、失敗をしないと成功もしないと良く聞きます。私自身、数多くの失敗をしてきました、でも諦めずに邁進したので今が有ると思います。ゴルフとは、失敗のゲームとよく言われますが、すごくこの成功哲学があてはまり、

なるほどと思わせる事が多いです。そこに良き仲間がいれば苦難も乗り越える力、喜びを分かち合い切磋琢磨できるでしょう。日々変わりゆく時代の変化においても、良き仲間達。良き先輩達からの助言や情報で多くを学び自身の成長には、大切な要因であります。

人気若手プレーヤーの影響で、少しゴルフ事情が良くなりそうで期待をしておりますが、ここで私達がしっかりとお客様へ指導をしていくことが大切です。ルール、マナーをきちんと伝え、スポーツとしての認知度を上げれるよう努力したいと思います。

接客業で有ることを忘れずに、何をもとめているのかを早く見定め、楽しくゴルフプレーをしていただけるようにする為のスキルを上げることも大切です。

『歩いているようにゴルフスイングが出来たらいいですよー』が、私のレッスンテーマです。これからも、日々精進していきたいと思えます。

寺本明寛

■練習場名：ニッケゴルフ倶楽部京ロセンター

■年齢：37歳

■勤務歴：5年

■役職：ヘッドインストラクター



幼少よりゴルフというスポーツに接してきましたが、ただ負けたくない気持ちだけで朝早くから父親と一緒に練習し、プロの指導も仰ぐようになりました。技術の向上を考え練習することに満足していたのです。しかしゴルフに対する気持ちが変わり始めたきっかけが学生時代の試合にありました。ある試合、同組でプレーした選手のゴルフに対する姿勢や気持、礼儀がただ単に技術を考えていた私と違うことに気づかせてもらったのです。

卒業と同時にプロゴルファーになる夢を諦め一般企業に就職をしましたが、ゴルフから離れられず転職し、スイング診断機を使うスクールの補助業務やショップの販売員を経験しました。そのころゴルフが好きで一生懸命に上達したいと願う多くの人たちと出会い、ゴルフというスポーツを伝えていく仕事に就きたいと思うようになりました。

『1回でも出来れば出来るようになる』という言葉、プロの指導を仰いでいた頃によく聞かされてきました。『専門用語を使わないように』と、スクールの補助業務でスイング診断をする際に注意を受けていました。今になって思えばどちらも現在の仕事であるインストラクションに通じています。上手くなりたいと願い頑張っている方と一緒に悩みを共有し、一緒に一生懸命になり励ましながら進めていかなければ、信頼感や安堵感は生まれません。

また言葉ひとつにしても、これからゴルフを覚え楽しみたいと願う方の気持ちが害わないよう気をくばり、分かりやすい言葉で理解して頂けるまで説明していかなければ安心感や達成感は生まれません。どちらも物事を伝える為に必要な、私の教訓になっている言葉です。

技術だけでなく、ゴルフには礼儀、エチケット・マナーと社会で必要なスキルを身につけなければ、ゴルフ人生において交友関係や社会的にもゴルフを楽しむことに繋がっていきません。レッスンにおいて技術だけ教えていけば良いではなく、エチケット・マナーを重要視し伝えていくことが指導者の立場として必要だと考えます。

ゴルフ業界全体の問題である2015年問題。ゴルファーの減少も第2次ベビーブーム世代、現在のジュニア世代のゴルファー育成に取り組んでいくこと、またその世代のゴルファーが本当にゴルフを楽しむ為に、必要なスキルを身につける通過点としてレッスンが有効に利用される場所であればと思います。

その為に必要な知識・情報を深め、技術に切磋琢磨し努力していきます。